

八王子で素敵なクリスマスを ～オレンジリボン運動って知ってる？～

「オレンジリボン運動」実施報告 創価大学文学部 社会福祉専修3年

活動概要

期間：2020年12月1日～2020年12月7日

場所：JR八王子駅前商業施設「八王子オクトーレ」3階のフリースペース

テーマ

「八王子で素敵なクリスマスを～オレンジリボン運動って知ってる？～」

実施内容

企画を「親子が楽しみながら学べる内容」を軸に考えました！

- ・ オレンジリボン運動に関する啓発展示
- ・ オレンジリボンキットの配布
- ・ 参加型展示「願いごとのツリー」
- ・ オリジナルのポスターの設置
- ・ QRコード化した啓発動画の配信
- ・ 児童虐待防止全国ネットワーク公式のパンフレット配布



コロナ対策

コロナの感染拡大を受け、誰もが安心して行えるイベントにするために当初予定していたワークショップなどの対面イベントを中止しました。

そして、展示や動画配信など会わなくても伝えられる形でオレンジリボン運動を行いました。

また、消毒やマスクの着用を促すポスターやアルコールの設置を行うなど、万全な対策を行いました。



事前に取り組んだこと

オレンジリボン運動を学ぶ

公式ホームページ等を参考に全員でオレンジリボン運動の経緯や活動、運動の趣旨、マークの意味について勉強しました。

企画

コロナ禍でどのような活動が学生に可能なのか、感染の状況にあわせた対策を考え、啓発活動を計画し、多くの人の集まる駅前商業施設のフリースペースでの展示を交渉しました。

子どもの権利を知る

虐待の実態、オレンジリボン運動公式ホームページ、CM等の映像を通して、子どもの権利について学びました。

その他

YouTube等でより効果的な宣伝方法や動画配信のためのQRコード活用方法などについて学びました。
また、著作権を考慮し、フリー素材などを活用して作成しました。

啓発展示

児童虐待のない社会を目指すために、来場者の方々に知ってもらいたい情報を伝える啓発展示を行いました。

内容はオレンジリボン運動の趣旨、児童虐待の定義や事例、シチュエーションに合わせた行動などの説明を行いました。

[illegible]

オリジナルポスター



もし、クリスマスに泣いている子どもがいたら、あなたはどうしますか？
笑顔溢れる子どもを増やすために、私たちに何ができるでしょうか？

皆さんのほんの少しの関心が子どもたちを救い、子どもたちの笑顔を生み出すきっかけになります。
誰にとっても生きやすい明るい社会を築くためには、皆さん一人ひとりの力が不可欠なのです。

「虐待かなと思ったら…」
児童相談所虐待対応ダイヤル

189 (イチハヤク)

子ども虐待防止
オレンジリボン運動

子どもがその子らしく生きることができ、子どもとその家族の笑顔が溢れる
社会を築き上げるために、私たちはオレンジリボン運動に賛同します。

一創価大学社会福祉専修3年生一

目を引くような啓発ポスターにしたい
と考え、大学の美術部さんにイラスト
の協力をお願いして作成しました。

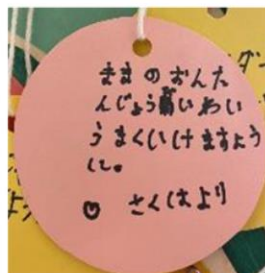
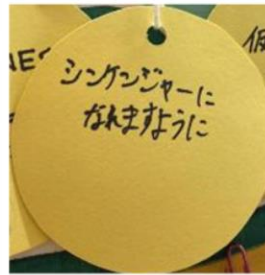
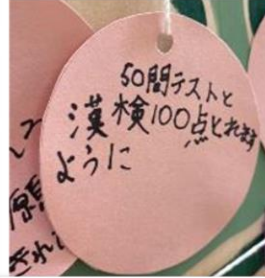
展示の宣伝ポスターは社会福祉専
修の学生がデザインしました。



↑ 啓発ポスター

↑ 宣伝ポスター

願いごとのツリー



子育てに優しい社会を目指すために、コロナ禍でも親子で楽しめる展示がしたいと考えて参加型展示を行いました。

「願いごとのツリー」では、来場者の方々にクリスマスのお願いをオーナメントに模した紙に書いて頂き、ツリーに飾させて頂きました。

沢山の来場者の方々に参加して頂き、子どもたちや若者の願いが溢れるツリーが完成しました！

啓発動画の配信

オリジナル紹介動画



オレンジリボン運動公式動画



オリジナルの子どもの権利動画



オレンジリボン運動の紹介や子どもの権利についてのオリジナル動画と様々な公式動画を活用させて頂き、啓発動画を作成し、QRコードを活用して配信しました。オリジナル動画では、学生たちの声を録音してオレンジリボン運動について紹介しました。また、「子どもの権利」については、子どもでも理解できるように学生による読み聞かせ形式で作成しました。

QRコード ➡



動画 ➡ <https://mevie.it/o71bsn6wiqa1op4uww3vstiaf4vg3ptogei7ap8c/?pw=>

オレンジリボンキットの配布



学生が季節に合わせてデザインしたメッセージカードと手作りのオレンジリボンをキットとして配布しました。

メッセージカードは、メッセージを送りたい相手の似顔絵とメッセージを書けるようにしました。来場者に自分が作成したメッセージカードを、本イベントに参加していない方にプレゼントしてもらうことでオレンジリボン運動を広める事を狙いとしました。

児童虐待防止全国ネットワーク公式のパンフレットも配布させて頂きました。

オレンジリボン運動を終えて…

子ども虐待の問題が改めて身の回りに起きうる問題であることを認識し、この問題を解決するためにも、周囲の人たちがすぐに手を差し伸べられる支え合いの環境を作る必要性を感じました。

また、オレンジリボン運動や児童虐待について学ぶきっかけを身近なところに作ることの大切さを実感しました。

イベント実施にあたっては、SNSの発信を地域の方がリツイートして下さるなど、地域とのつながりも感じられました。

そして、来場者の方が配布物を半数以上持ち帰ってくださり、1週間で800人程の方が、オレンジリボン運動に来場して下さり、児童虐待防止の啓発に繋げることができたと思いました。

これからも私たち一人一人が「子ども虐待のない社会の実現」を目指し、声を上げていきたいと思いました。



オレンジリボン運動実施報告 2021

